

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究

研究テーマ

「グローバルな視野を持ちながら、ローカルに
たくましく生きる自立した生徒の育成」

—地域に根ざし持続可能な社会を目指す社会科学習と
「翼プロジェクト」との連続性を探る—

信 州 大 学

令和5年1月 20 日（金）

本年度の研究内容

地域と主体的に関わり，社会で生きる意味や目的を自覚し，
社会参画する態度の育成をめざし，
地域社会の教育資源を活用した
社会科学習におけるカリキュラム開発

- ①社会科学習を核とした教科等横断的なカリキュラム編成
- ②地域社会の課題発見と課題解決のための学習過程を身に付ける学び
- ③主権者として社会を支えていくために必要とされる公民としての資質・能力の育成

本校の紹介



長野市立長野中学校

- ・ 中高一貫校(適性検査による入試選抜)
- ・ 市立長野高校は総合学科
- ・ **翼プロジェクト**(総合的な学習の時間)を柱に、特色ある教育活動が行われている。

公民的分野

大単元「民主政治と政治参加」

小単元

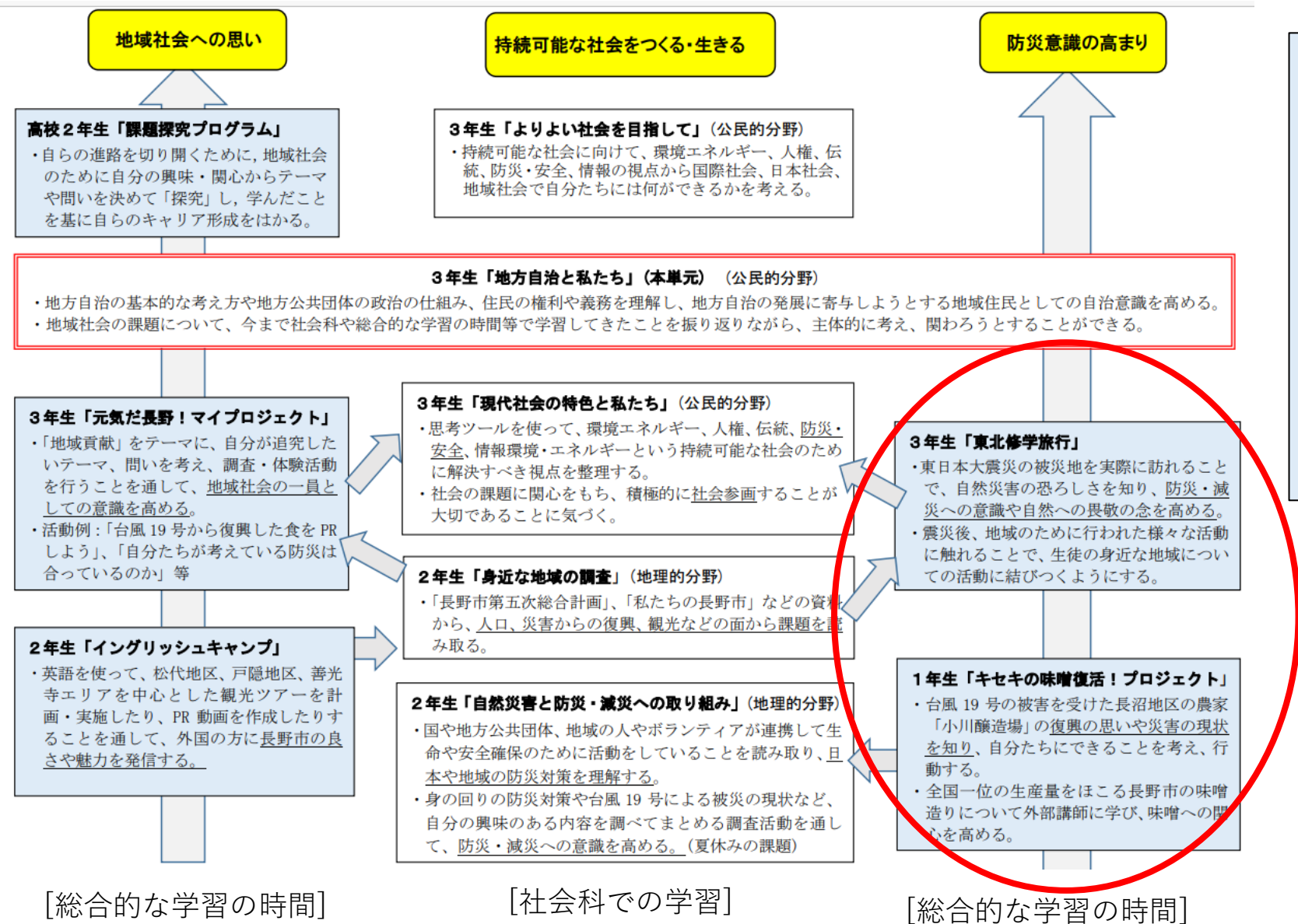
地方自治と私たち

～避難所運営を学んできた私たちにできること～

発表者：山崎 慎也

①カリキュラム開発の構造図

小单元「地方自治と私たち」を総合的な学習の時間とのつながりを中心にとらえた構造図



東北修学旅行での学び
宮城県気仙沼市や南三陸町などを訪れ、語り部の方の話を聴きながら被災地をめぐった。

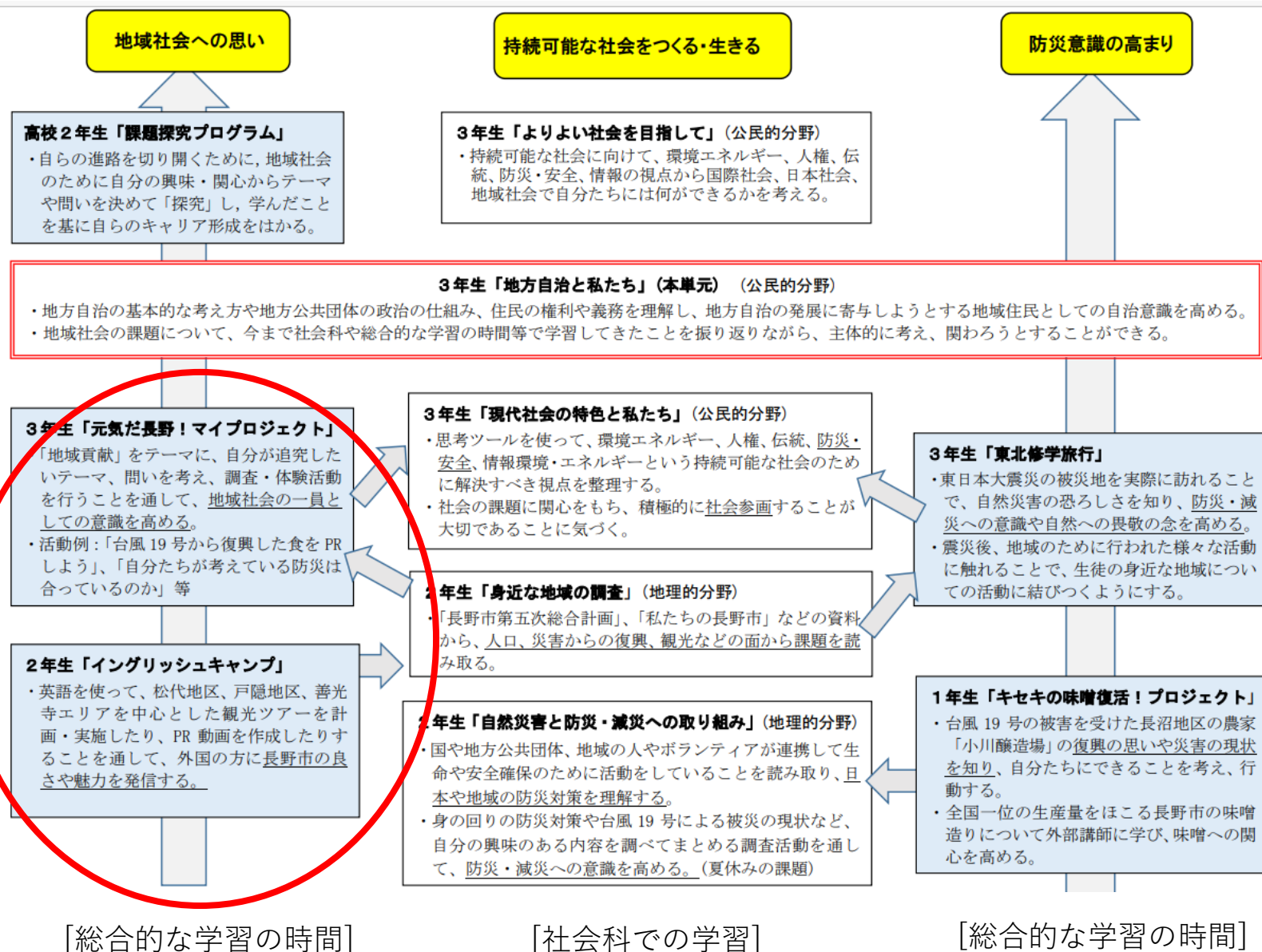
学習カードより
・避難所では1人1人に違った役割があるのではないかと考えた。私も何ができるのか、考えていきたい。



石巻西高校 元校長先生による「避難所運営」のワークショップ

①カリキュラム開発の構造図

小单元「地方自治と私たち」を総合的な学習の時間とのつながりを中心にとらえた構造図



地域貢献活動での学び
例：「真田紐をPRしよう」
…地域に伝わる伝統工芸品の良さを知り、発信する。
[学習カードより]

・様々な地域の方と交流しながら、地元の小学生に長野市の伝統工芸品である真田紐について興味をもってもらうことができてよかった。



市役所、地域住民の方へのインタビューや対話を通して活動を進めてきた

②単元展開

時	学習内容	学習問題	生徒の意識
1	住民自治と 団体自治	地方自治はどのような考えに基づいて行われているのか。 学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために 私たちができることは何だろう？	地域の政治はそこに住む住民が積極的に関わったり、考えたりすることが大切なんだ。 長野市の政治やまちづくりの現状を知って、自分たちにできることを考え、実行していきたい。
2	地方自治の 仕組みと財源	地方自治はどのような仕組みや財源で行われているのか。	直接請求権という形で、住民が政治に参加することもできるんだね。
3	地方自治の課題	地方自治にはどのような課題があるのか。環境、人権、伝統、防災、情報技術など、持続可能な社会の視点から考えよう。	3年前に台風19号によって千曲川が氾濫し、長沼や市立長野中の周辺にも大きな被害が出たね。 台風19号をきっかけに防災の意識が高まっているけれど、この地域の防災に対する備えはどうなっているんだろう。
4	政治参加	学習課題：防災の視点から、地域のために自分たちが できることを考えよう。 ※自治協議会の方の声を紹介	被災の後、人口減少が進んだ地域があるようだ。防災・安全という視点から課題を考えよう。
5	政治参加	避難所運営・開設マニュアルに自分たちの意見を伝えよう。 ※自治協議会の方…授業参加	高齢者や障がいのある方などの立場を優先的に考えたい。 よりよい学校施設の利用方法を考えたい。 市の職員や地域の役員の方だけの運営は大変そう。
6	政治参加	自分たちが考えた避難所運営・開設マニュアルについて、効率と公正の視点から見直そう。	省略
7	単元の振り返り (地方自治のまとめ)	学習問題について、振り返ろう。	様々な側面、立場から長野市の未来を考えることができて良かった。一人でも多くの人が社会に参画し、経験や知恵をしばって話し合い、解決策を見いだしていくことが大切ではないか。

③授業の実際

学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために 私たちができることは何だろうか？

第1時 予想・見通し(Teamで共有)

検索

2 社会チャネル 投稿 ファイル メモ ホワイトボード1 ホワイトボード2 ホワイトボード3 ホワイトボード4

2022/11/22 11:52 編集済み

地産地消をする。
自分たちが住んでいる地域のことをよく知る。

2022/11/22 11:52

環境に配慮した生活をする（ごみの分別、プラスチック削減など）
地産地消をする。
地域の交流に積極的に参加する。

2022/11/22 11:53

限りのある資源を大切に使う。
過去の教訓から学び、今後につなげる。（災害）
環境に配慮した手段や商品を選ぶ。
昔からの伝統や文化を継承する。
今抱えている課題についてもっとよく知る。

簡易表示

2022/11/22 11:54

生活の中で地球に優しい行動を当たり前にしていく。（マイバックとか自転車、電車を使うとか）

2022/11/22 11:54

環境保護、無駄を減らす、地産地消

2022/11/22 11:54

節電などをして資源を大切に扱う。
地域の行事に参加したりして、伝統文化を受け継ぐ、伝える。
残さず食べる。

新しい投稿

環境に配慮した生活をする。
（ごみの分別、プラスチック削減など） **(環境)**

自分たちが住んでいる地域の問題を知る。
その問題についてできることをする。 **(住民自治)**

災害について、過去の教訓から学び、今後につなげる。
被災地の商品を買う・一人一人の防災意識の向上 **(防災)**

長野市の魅力を発信して人口減少を抑える。
(総合的な学習の時間との関連)

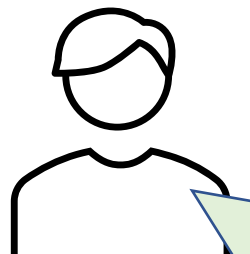
社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に
解決しようとする態度

③授業の実際

**学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために
私たちができることは何だろう？**

第4時 長野市の課題から、自分たちに実際にできることを考える場面

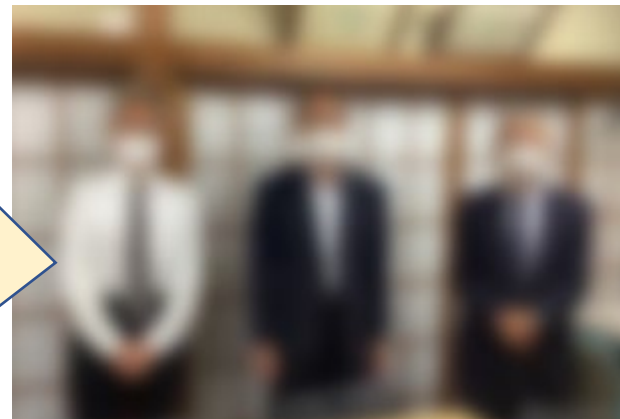
社会的事象について、よりよい社会の実現を
視野に課題を主体的に解決しようとする態度



私たち、東北で学んできたじゃん！「防災・安全」について考えていきたい。(前時の学習カードより)

避難所開設や運営の具体(施設利用方法・必要物品・運営のシュミレーション等)を学校と相談して、つくっていきたい。

地域の自治協議会の皆さん



**防災・安全の視点から、長野市や地域のためにできること、
避難所運営・開設の具体案を考え、地域に提案しよう。**

③授業の実際

学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために 私たちができることは何だろうか？

第5時 実際に学校の施設をどう開放するかを話し合った場面

想定される使用例

(避難所開設・運営マニュアルより)

- ①ペット飼育スペース
- ②調理・炊き出しの場所
- ③支援物資置き場
- ④自衛隊の公的スペース
- ⑤仮設トイレ
- ⑥駐車場
- ⑦その他

校舎の利用方法をふせんに貼って共有



社会的事象について(多面的・)多角的に考察したり, 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力

生徒の考えた根拠(付箋・対話より)

- ・ 1階の会議室は**お年寄り**が避難、生活するスペースにする。→階段がなく、保健室にも近いため。
- ・ 自衛隊の公的スペースは動線を考え、セミナーハウス前に広場に置く。(1F教室棟に入りやすい)

生徒の振り返り

- ・ 自分たちが普段過ごしているからこそその気づきがあった。
- ・ 修学旅行のときの学びをいかしながら、どんな工夫ができるのかを考えることができた。色々な立場になって考えると、視野も広がった。(多角的な視点)

③授業の実際

学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために 私たちができることは何だろうか？

第5～6時 「効率」と「公正」の視点をもとに、避難所開設・運営のシュミレーションを行った場面

以下の4つのグループに分かれてシュミレーション(市が作成する危機管理防災マニュアルをもとに、中学生でも手伝えること・学校の校舎や備品を活用できること等)を考えた。

①本部総括班

②生活環境班

③健康福祉班

④物資食事班

※実際に長野市の危機管理防災課で作られているマニュアルに基づく



多面的な視点

生徒から出た考え

・市のホームページにある、名簿、健康チェックシート、掲示物を印刷して学校においておく(**効率**)

・掲示板を使って現在所有している物資の量を住居者に提示する。(**公正**)

・手伝える生徒は、委員会ごとに役割を分ける。

思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力



学習課題：長野市や地域で持続可能な社会を実現するために 私たちができることは何だろうか？

持続可能な社会の実現に向けて大切な考え方って何だろうか？（小単元の終末）

学習カードより

- ・その施設に関わる立場の人たちがみんなで**事前に話し合っておく**必要があると思った。
- ・上に立つ人だけでなく、**住んでいる人全員が「協力しよう」という意思をもって生活すること。**
- ・高齢者、外国人、小さな子どもがいる家庭など、**様々な立場になって物事を考えていくこと。**
- ・その過程のどこかに自分が関わり、身近に感じたり考えたりすることが大切だと思う。

社会的事象について、
よりよい社会の実現を視野に
課題を主体的に
解決しようとする
態度

④成果と課題

成果

- ・ **地方自治の基本的な考え方である「住民自治」の考え方の理解と態度の育成**
→身近な地域が抱えている課題を追究したことで、地域社会における住民の福祉は、住民の自発的努力によって実現するものであることを、実感をもって理解することができた。
- ・ **総合的な学習から生徒の学びや意識をつなげる単元づくり**
→市立長野中学校の教育課程の柱である「総合的な学習の時間」の中で学んできたことや感じてきたことを、社会科の授業で効果的に位置づけ、生徒の追究のエネルギーにつなげることができた。

課題

- ・ **カリキュラム・マネジメントの視点から社会科と総合的な学習の位置づけの再考**
→授業設計において地域が抱える課題解決に意識が傾斜し、総合的な学習が主で社会科本来の学びが従となってしまいがちだったので、カリキュラム・マネジメントとして社会科の視点からの教育課程の編成並びに教科横断的な授業設計の在り方を再検討したい。
- ・ **関係諸機関との連携**
→地域の自治協議会と連携した学びに加え、今後行政の担当(危機管理防災課等)との連携や議員等との懇談等、より幅広く実社会の関係機関等との連携を限られた時間の中でどのように展開すべきかを検討していきたい。

地理的分野
「地域の在り方」

単元名

『Nagano do シテー？』

発表者：中村 広登

地理的分野での試み

主権者教育で育成を目指す資質・能力

知識・技能

- ・ 現実社会の諸課題に関する現状や制度及び概念についての理解
- ・ 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- ・ 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- ・ 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

『地域調査の手法』

○夏休みを活用して地域調査

魅力：自然、歴史、産業

課題：災害、高齢化、開発の差

『日本の諸地域』

- ・ 北海道地方…自然環境に合わせた暮らし
- ・ 近畿地方…開発とまちづくり
- ・ 中部地方…産業と自然・社会条件
- ・ 東北地方…変容する文化との共存
- ・ 中国四国地方…人口の偏在による問題
- ・ 関東地方…つながりによる地域の変化
- ・ 九州地方…自然災害とのたたかい

『地域の在り方』

SDGs11：住み続けられるまちづくりを
「長野市が今後も住み続けられる地域になるためにはどうすれば良いのだろうか？」

- ・ 長野市や他地域の総合計画の活用
- ・ 市役所職員との対話

総合的な学習の時間等

身近な地域の歴史

過去から現代に至る
歴史や文化のつながり

善光寺ウォーク

English Camp

留学生との交流で
長野市の魅力を伝える
(自然、歴史、人、観光等)

地理的分野での試み

主権者教育で育成を目指す資質・能力

知識・技能

- ・ 現実社会の諸課題に関する現状や制度及び概念についての理解
- ・ 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- ・ 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- ・ 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

善光寺を案内する活動

○善光寺には今まで何度も行っただけではあったけど、1つ1つの意味を知らずに参拝をしていたことに初めて気づいた。

○善光寺ウォークに向けて準備するなかで、善光寺の歴史を初めて詳しく知り、やっぱりすごいお寺だと思いました。

➡長野市の観光の中心となる善光寺の歴史や魅力に気づいた。

戸隠・飯綱を案内する活動

○戸隠飯綱はとても自然豊かだった。建物が少ない分、標高の高いところから見る景色は綺麗だった。

○アスレチック等自然と共存できる場所があった。

○蕎麦屋さんや神社があったりして、長野らしさがあるなと思った。

➡長野市内の新たな魅力と特色に気づいた

総合的な学習の時間等

善光寺ウォーク

過去から現代に至る歴史や文化のつながり



English Camp

留学生との交流で長野市の魅力を伝える
(自然、歴史、人、観光等)



地理的分野での試み

主権者教育で育成を目指す資質・能力

知識・技能

- ・ 現実社会の諸課題に関する現状や制度及び概念についての理解
- ・ 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- ・ 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- ・ 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

『地域調査の手法』

○夏休みを活用して地域調査

魅力：自然、歴史、産業

課題：災害、高齢化、開発の差

夏休みを利用して、長野市内の自分の住む身近な地域の調査を行った。

○自分の身近な地域に意外と古い歴史や建物があつたり、今住宅地の所が昔は田んぼということを知って驚いた。

○地図を見たら、変化している所がたくさんあった（電鉄や建物）。気づいたところから問いを立てて深堀したい。

➡地図やインタビューを通して、自分の身近な地域の変化に気づいた。

総合的な学習の時間等

身近な地域の歴史

過去から現代に至る
歴史や文化のつながり

善光寺ウォーク

2年 身近な地域の調査

問い「自分が住んでいるところは昔はどうだったのか」

名前	百瀬道彦		
自分が調査する地域	上松		
調査した内容、資料①	地附山の歴史	調査した内容、資料②	上松の歴史
1.麓地蔵橋・ロープウェイ山頂駅跡、スキー場跡地：昭和36年雪上スキー場から地附山山頂までロープウェイが架設され、山頂一帯には動物園、スキー場、釣り堀、観光リフト、遊園地等ができ、賑わっていた。しかし、昭和39年「戸隠バードライク」の開通により、地附山一帯は通過点となり、レジャー事業は衰退した。また、昭和50年にはロープウェイも廃業に追い込まれた。これらの施設の一部は今でも見ることが出来る 2.1985年7月26日午後5時頃地すべりが発生。地滑りにより、斜面にあった戸隠バードライクは寸断。老人ホーム「ゆま荘」の一部建物が押しつぶされ、多数の死者を出した。湯谷小学校が避難場所となった。死者は26人、負傷者は14人。	 	（明治の初期）ほとんど専業農家だった上松の人々は田畑を耕して、自給自足の生活を送っていた。 飲料水を確保するのはきわめて重要なことだった。上松は扇状地の最奥に近い山間だったので地下水が少なく、共同の井戸水を汲み上げたり、沢の水を生活用水として利用していた。夏の家に水缸を用意し、通んできた水を大切に利用していた。 （昭和50年頃）上松に水道が敷設され、給水が開始された。 山を所有している人が多く、ガスがないころの人々にとって日常使用する燃料として薪を燃やすための場になっていた。 （昭和15年頃）地附山付近はほとんど農地だった。その後りんご栽培に転換し、第二次世界大戦後は農用がほとんどなくなっていた。 （昭和30年頃）宅地化が進んでいった。 今では田畑はほとんどない。	

まとめ
上松は、ロープウェイ等観光のための開発や自然災害等、様々な歴史があり、今もその影響が残っているところや私たちの生活に根ざしているものやなくなってしまうものがあった。

感想
上松が意外と歴史深くとても驚きました。
自分の住んでいるところの昔の様子や出来事が知れて良かった。

地理的分野での試み

主権者教育で育成を目指す資質・能力

知識・技能

- ・ 現実社会の諸課題に関する現状や制度及び概念についての理解
- ・ 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- ・ 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- ・ 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

『地域調査の手法』

『日本の諸地域』

【中国・四国地方】

人口、都市村落を中核とした考察で中国・四国地方の現状や人口減少への取り組みを調べてきた。

○人を呼び込むために住みやすい環境をつくることと、観光としても人を呼びよせて町を知ってもらおう工夫の両方が必要。

○過疎を止めるには…生活も仕事も一緒にかえる必要があった。

➡人口減少問題の現状や解決の難しさ、複合的に解決を目指すことの大切さに気づいた

総合的な学習等

身近な地域の歴史

過去から現代に至る歴史や文化のつながり

善光寺ウォーク



English Camp

留学生との交流で
長野市の魅力を伝える
(自然、歴史、人、観光等)

地理的分野での試み

『地域の在り方』単元計画

時間	○学習活動 学習問題
1	○長野市役所職員の方のお話を聞き、単元の見通しを持つ。 単元の学習課題例「長野市が今後も住み続けられるようなまちにしていくにはどうすればよいのだろう？」
2	長野市ってどんな地域なのだろう？ ○「自然環境」「人口」「生活・文化」「産業」「開発」「つながり」等の視点から分担して調査する。
3	○調査結果を説明し合い対話することで、長野市の地域的特色と課題を明らかにする。 長野市で今なんとかしなければいけない課題ってなんだろう？それってなぜ起きているんだろう？
家庭学習	○自分の両親や祖父母、地域の方へ市の課題や現状について聞き取り調査をする。
4	○地域で起きている課題とその要因を考察し、まとめる。 ※市役所職員の方に生徒の考えを伝え、意見をもらう（メール）。
5	長野市が今後も住み続けられるようなまちにしていくにはどうすれば良いのだろう？ ○これまでの学習をもとに、自分の考えをまとめる。
6	○考えたことを説明し合い、対話しながら、持続可能なまちづくりの在り方について検討する。
7	○市役所職員の方へ今後の長野市の在り方を伝え、意見をもらい、単元の学びの振り返りをする。

地理的分野での試み

『地域の在り方』 授業の実際

長野市役所企画政策部企画課の方

長野市が今後住み続けたいくなるような地域を考えているところ。
中学生の考えも教えて欲しい。



単元の学習課題

「長野市が今後も住み続けたくなるようなまちにしていくにはどうすればよいのだろうか？」

【当初の生徒の予想・考え】

- お店を増やす
- 交通網の整備
- テーマパーク等の遊び場を作る
- 仕事ができる場所を増やす
- 若者を呼び寄せる支援、工夫

學習課題①

「長野市はどのような地域なのだろう？」
地域的特色・課題をとらえる

産業		人口・文化		歴史開発		自然環境	
担当		担当		担当		担当	
北陸新幹線が開通してから外国人宿泊数が急増！近年観光業が発達している。		・現在の人口は約37万人 ・年少や生産年齢人口は減少、老年人口は増加 ・人口ピラミッドは富士山型からつぼ型に		・松代駅一利用人口が減少してなくなった。 ・茶臼山の地すべりー茶臼山恐竜公園、近辺には動物園。 ・地附山地すべり跡地の普光寺ロープウェイー今はない。 ・長野市中央通りー整備事業 ・ビックハットーエムウェーブー南長野運動公園ー五輪大橋		長野市の平均気温は11度 ⇒比較的涼しい 年降水量932mm ⇒中部地方の他の地域に比べると少ない アップルラインを中心に台風19号の被害を受けた	
平成26年から27年で製造品出荷額等と粗付加価値額が急増。		・人口の多い地域は増加傾向、人口の少ない地域は減少傾向					
川上村以外では、農業の		・由良川、菅野川に結核池					
①班で調べてわかったことを説明し合う							
②班で対話をして学習問題の解を導きだそう							
まとめ							
涼しく降水量の少ない気候を生かし、農業が盛んだが、都市から離れた地域では少子高齢化が進んできている。また、駅前では交通の整備などで観光業が盛んで人口も多い。							

地理的分野での試み

【生徒の感想】

- ずっと住んできた長野市だったけど、知らないこともいっぱいあってびっくりした。
- 善光寺等の歴史とか自然とか魅力もいっぱいあるけど、深刻な問題もあった。

人口減少

少子高齢化

人手不足

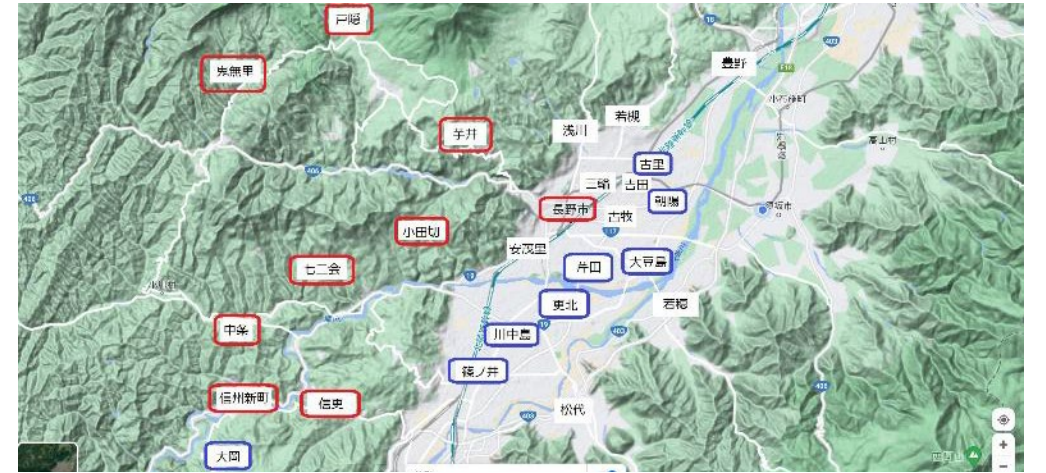
過疎化

学習課題②「山間地や中心部で人口が減ったり、少子高齢化が進んだりしているのはなぜだろう？」 社会的事象について多面的多角的考察する

【生徒聞き取りより】（一部） 社会的事象を調べまとめる

- 新しく家を建てる場所がない。昔から住んでいる人が年をとってきている。新しい家が少ないので、子供も少なく、空き家が多い。（中心部）
- 若者が出て行って高齢者が多い。人口減→バス減→人口減 人口減→畑減、少子高齢化で若い人が少ない上に、病院やスーパーがほぼない。戸隠は診療所1件と小店舗2つ。（山間地）

【人口の変化について、地図に色分けして記入】



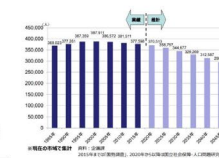
長野市の人口②



地区別人口 (32地区) ①	人口
長野市地区	377,098
第1地区	5,093
第2地区	11,774
第3地区	6,364
第4地区	2,893
第5地区	4,820
第6地区	28,996
第7地区	26,951
第8地区	16,780
第9地区	16,762
第10地区	13,543
第11地区	6,873

地区別人口 (32地区) ②	人口
第12地区	6,825
第13地区	12,022
第14地区	14,601
第15地区	20,194
第16地区	2,303
第17地区	21,503
第18地区	902
第19地区	2,154
第20地区	43,340
第21地区	17,100
第22地区	12,201

地区別人口 (32地区) ③	人口
第23地区	26,881
第24地区	33,486
第25地区	4,499
第26地区	2,051
第27地区	9,609
第28地区	3,499
第29地区	1,393
第30地区	1,901
第31地区	4,135
第32地区	1,917



地区別人口 (32地区) ④	人口
第33地区	2,893
第34地区	4,820
第35地区	28,996
第36地区	26,951
第37地区	16,780
第38地区	16,762
第39地区	13,543
第40地区	6,873

地区別人口 (32地区) ⑤	人口
第41地区	6,825
第42地区	12,022
第43地区	14,601
第44地区	20,194
第45地区	2,303
第46地区	21,503
第47地区	902
第48地区	2,154
第49地区	43,340
第50地区	17,100
第51地区	12,201

地区別人口 (32地区) ⑥	人口
第52地区	26,881
第53地区	33,486
第54地区	4,499
第55地区	2,051
第56地区	9,609
第57地区	3,499
第58地区	1,393
第59地区	1,901
第60地区	4,135
第61地区	1,917



地区別人口 (32地区) ⑦	人口
第62地区	2,893
第63地区	4,820
第64地区	28,996
第65地区	26,951
第66地区	16,780
第67地区	16,762
第68地区	13,543
第69地区	6,873

地区別人口 (32地区) ⑧	人口
第70地区	6,825
第71地区	12,022
第72地区	14,601
第73地区	20,194
第74地区	2,303
第75地区	21,503
第76地区	902
第77地区	2,154
第78地区	43,340
第79地区	17,100
第80地区	12,201

地区別人口 (32地区) ⑨	人口
第81地区	26,881
第82地区	33,486
第83地区	4,499
第84地区	2,051
第85地区	9,609
第86地区	3,499
第87地区	1,393
第88地区	1,901
第89地区	4,135
第90地区	1,917



地区別人口 (32地区) ⑩	人口
第91地区	2,893
第92地区	4,820
第93地区	28,996
第94地区	26,951
第95地区	16,780
第96地区	16,762
第97地区	13,543
第98地区	6,873

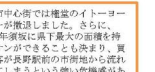
地区別人口 (32地区) ⑪	人口
第99地区	6,825
第100地区	12,022
第101地区	14,601
第102地区	20,194
第103地区	2,303
第104地区	21,503
第105地区	902
第106地区	2,154
第107地区	43,340
第108地区	17,100
第109地区	12,201

地区別人口 (32地区) ⑫	人口
第110地区	26,881
第111地区	33,486
第112地区	4,499
第113地区	2,051
第114地区	9,609
第115地区	3,499
第116地区	1,393
第117地区	1,901
第118地区	4,135
第119地区	1,917

長野市道路状況



長野市道路状況



長野市道路状況



長野市道路状況



長野市道路状況



長野市道路状況



長野市道路状況

地理的分野での試み

【生徒の感想】

○若者が出て行く→人口が減→不便になるという悪循環が生まれていた…自分は何不自由なく暮らせているから本当に危機感がなかった。正直こういう人がいるから問題が解決しないんだと思った。

単元の学習課題

「長野市が今後も住み続けたいくなるようなまちにしていこうにはどうすればよいのだろう？」

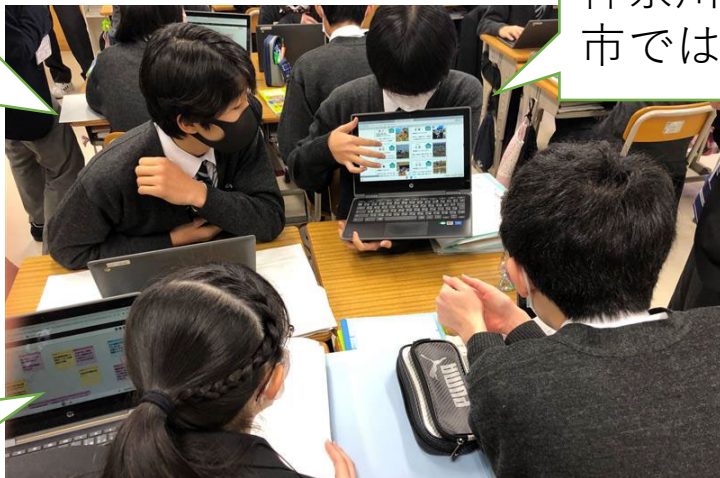
課題解決に向けて選択・判断する、思考判断したことを説明したりそれらをもとに議論する

【生徒の見通し（欲しい資料）】

- ・長野市が今現在取り組んでいること
- ・他の地域で人口減少対策の取り組み
- ・空き家の現状
- ・長野市の土地・交通状況 等

市もできることはやっている。
出生率を上げるには、市では…

長野市でも古民家を活用している例が…



神奈川県大和市では…

他の地域の取り組み【中心市街地】 ※山崎地区は「中国・四国地方」の資料も参考

中心街でコンパクトシティを目指す富山市と大分市

富山市

1 富山市のまちづくりの基本方針

富山市は、中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。

富山市のまちづくりのキーワードは、「車と回子」。「回子」とは、人々が生活する場をいくつかの「居住推進地域」に誘導し、市はそれぞれの地域に重点的に対策をして、効率的なまちづくりを進めた。「車」とは、その回子同士をつなぐように公共交通（LRT等）を整備することで、自動車なくても歩いて暮らせるまちを実現する。公共交通の充実と、公共交通を利用しやすい距離に人々が住むことを進めることによって、中心市街地の活性化を含む持続可能なまちを実現するという構想である。

富山市は現在、公共交通路線の13カ所を「居住推進地域」に指定している。市の中心部に商業施設を整備するだけでなく、「居住推進地域」から徒歩圏内に公共施設や市の施設を増やし、公共交通路線の駅を増やすなど、利便性を高めた。また、この地域への移住を誘導するため、住宅の購入やマンション建設への補助金も出している。こうした政策の成果もあって、市の中心市街地の人口は、2008年以降は転入超過に転じるようになった。また、富山市民のうち居住推進地域に暮らす人々の数は、2005年の28%から、2019年の38.8%に上昇した。

大分市

大分市は30年前から郊外に大規模ニュータウンや大型ショッピングセンターが誘引されてきた。客足を奪われ、駅周辺にあったデパートは閉鎖された。そこで、開発が進まなかった駅南側に、複合文化施設「ホルトホール大分」（ホールや図書館、福祉施設）と、駅ビル「直売おいたしシティ」（ホテル、専門店、映画館）を開業した。駅近道沿いには大規模な緑地を整備し、周辺でマンション建設が進む。さらに、デパートの跡地に、商業施設「セントラルタビル」を開業した。元々のデパートは8階建て、店舗面積1万2800平方メートルだったが、セントラルタビルは、2階建てで2607平方メートルと、大幅に規模を縮小した。小規模ながら地元スーパーに加え、24時間の病児保育施設、歯科医院、学習塾などが入り、商業施設で暮らしている。生活に必要な施設が近距離に充実することで、住民の利便性が高まり、駅周辺人口の増加も起きている。

高松市

高松市は、中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。

高松市の中心街に再開発した高松市丸亀商店街

香川県高松市の中心街にある高松丸亀商店街は、駅周辺の開発や郊外型ショッピングセンターができたことにより、1990年代後半から利用客が大幅に減少。空き店舗が見られるようになった。商店街が「買い物をする場」だけでなく、「様々な人が住みやすい場」になることを目指し、商店街上部にマンションを建て、ガリアツリを運営し、音楽モデルの施設などコンパクトなまちづくりと合わせた再開発を行った。近年居住者が増え商店街の活気が戻ってきている。

安芸高田市

安芸高田市は、中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。

安芸高田市の中心街に再開発した安芸高田市丸亀商店街

安芸高田市は、中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。

外国人の共生を試みる安芸高田市

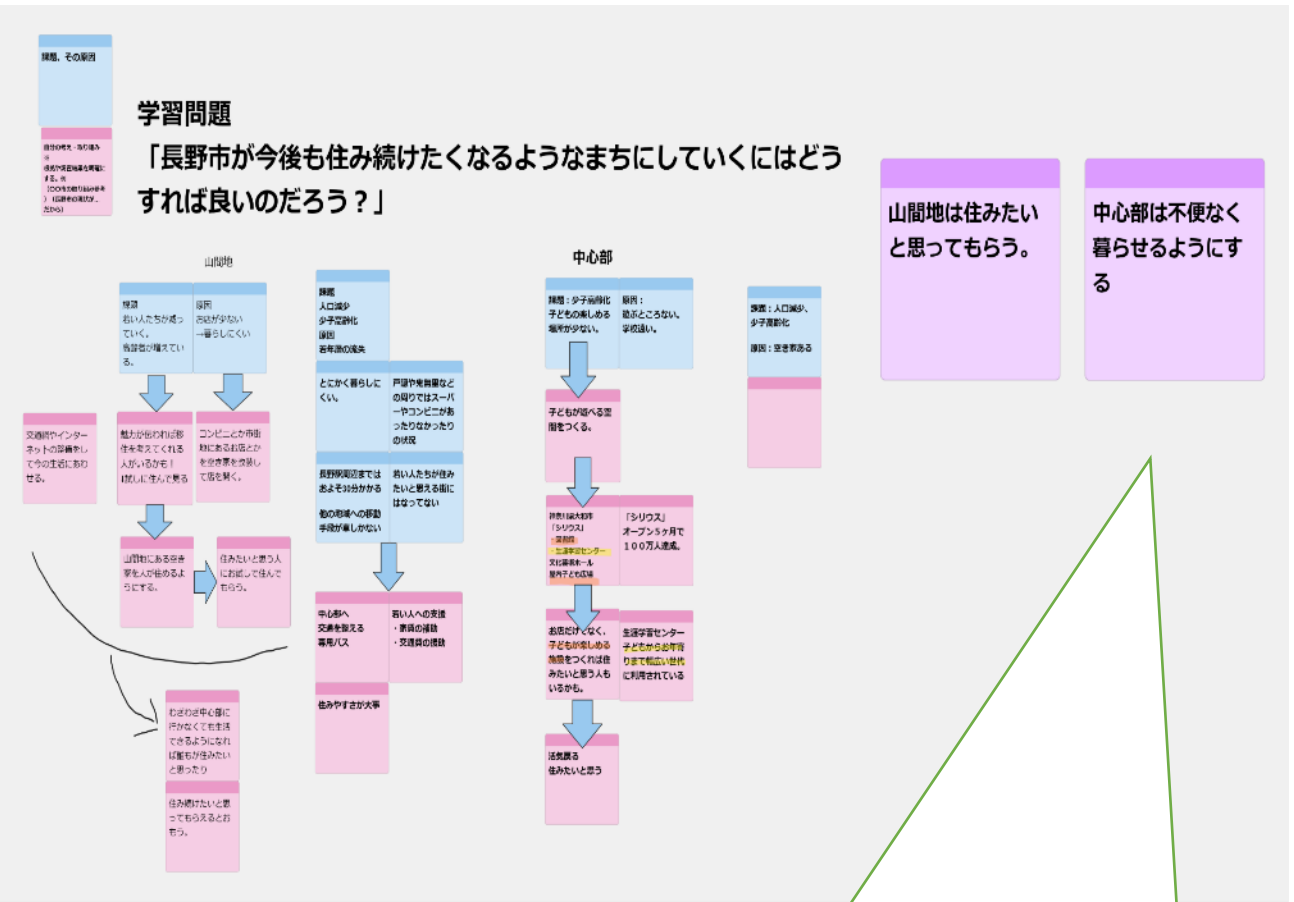
安芸高田市は、中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。中心市街地の活性化を図ることで、都市の発展と持続可能なまちづくりを実現する。

外国人が好きなと評判のとかの問題じゃない、必須の形だとも考えている。これを思ったら町がつぶれてしまう

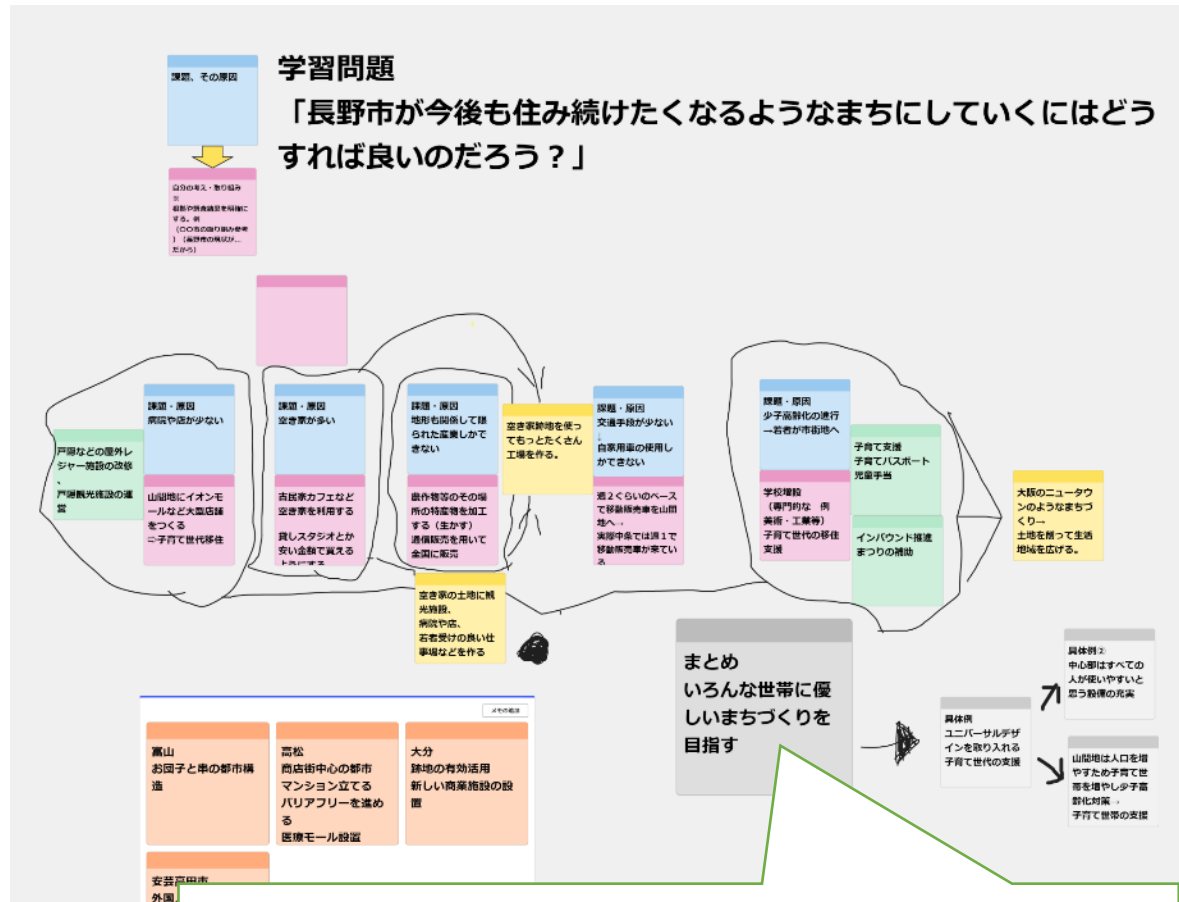
市は高齢化と働き手不足から、「安芸高田市多文化共生推進プラン」を掲げて積極的に外国人の移住を呼びかけている。多文化共生推進や移住を自治体で雇用し、英語・ポルトガル語・中国語の通訳体制を整えるとともに、交流会を企画したり、3言語による生活ガイドブックを作成し配布したりしている。外国人移住希望者に対して家賃と短期移住の2つの条件を整え、外国人移住者向けの雇用研修や日本語教室の事業をつくった。現在600人以上の外国人が暮らす。

地理的分野での試み

班で意見交換をし、まとめたMicrosoft White board



山間地と中心部は「人口減少」や「少子高齢化」という課題が同じでも、原因が違うことから、それぞれに対する対策や取り組みが必要だと考えた班



お年寄りへのインタビュー内容（まちに障壁が多くて生活しにくい等）から、若者だけでなく、様々な世代や外国人も過ごしやすくなる取り組みが必要だと考えた班

地理的分野での試み

【生徒のまとめ・感想】

○調べてみると、今でも市で支援とか取り組んでいるらしいけど、住んでいて全く実感がなかった。市全体を巻き込んでいかないと人を集めるのは難しいと思った。今ここに住んでいる人間として、高齢者の意見を聞くことでこれからの課題を知り、解決していく機会になったと思う。

○子育てしやすいように支援だけじゃなくて、空間を作った方がいいと思った。山間部は仕事やお店、交通網を同時に増やすべきだと思った。（山間部は車がないと生活ができない）

○地域独特の何かで観光客を呼び込み、住みやすい地域だとアピールする事が大切だと思った。

○身近に感じる不便さとか職場体験の経験とか、データとかを活用してみんなで話し合ってすごく良い案ができた。経験って大事。個人的にはインフラの整備、SNS活用が良いと思う。若者にも老人にも誰にとっても良いまちって難しい…

・市街地と山間地や若者や高齢者等立場を明確にして取り組みを考えたのが素晴らしい。

・市役所では、限られた予算（大切な税金）を必要なところやより効果がありそうなところに使うように考えている。

・長野市の魅力ってなんだろう？どうすれば人々の心に届くかも一緒に考えたい。

【市役所職員との対話】



地理的分野での試み

市役所職員の方との対話を終えて

【生徒のまとめ・感想】

○長野市をよくための方法を見た時に、いくつかの視点でみることができると思う。例えば、なにか施設を作るとき、お金がかかるけどそれに見合った利益があるのか。誰がその施設を運営するのか。人は来るのか。場所はそこでいいのか。何か似たような施設はないのか等、いろいろな面からよしあしを考えなければいけない。でも長野市をよくするためには何か行動をしなくちゃいけないし、ハイリスクハイリターンな面もあるから、頭をフル回転させなきゃと思った。

○今まで長野市で何気なく暮らしてきて、少しでも不便だなと思うところはあったけど、特に考えずば一っと過ごしていた。けれど、この単元になってから、長野市の現状や課題が見えてきて、・・・自分たちが住んでいるところは住民全員で意見を出し合ってくるものだと思った。・・・今長野市が行っている制度や町おこしを自分はよく知らない。もっと調べて、どう役立っているのかをもっと知りたい。できるなら参加してみて、少しでも貢献できたらいいと思った。長野には隠れた魅力もあるだろうから、どんどん見つけて、いつかは超有名な市にしたい。今日はとても楽しかった。

【授業者が学んだこと】

- ・実社会がかかえる課題を追究することの良さ
- ・社会科の学習と総合的な学習の時間の学習とを関連づけて授業展開することの良さ
- ・社会科における学習内容の系統性に関して、地理的分野としての主権者教育の位置づけの難しさ



鴨



[ユーザー名]

2022/11/22 11:52 編集済み

地産地消をする。
自分たちが住んでいる地域のことをよく知る。

掛



[ユーザー名]

2022/11/22 11:52

環境に配慮した生活をする（ごみの分別、プラスチック削減など）
地産地消をする。
地域の交流に積極的に参加する。

山



[ユーザー名]

2022/11/22 11:53

限りのある資源を大切に使う。
過去の教訓から学び、今後につなげる。（災害）
環境に配慮した手段や商品を選ぶ。
昔からの伝統や文化を継承する。
今抱えている課題についてもっとよく知る。

簡易表示

櫻



[ユーザー名]

2022/11/22 11:54

生活の中で地球に優しい行動を当たり前にしていく。（マイバックとか自転車、電車を使うとか）

山



[ユーザー名]

2022/11/22 11:54

環境保護、無駄を減らす、地産地消

松



[ユーザー名]

2022/11/22 11:54

節電などをして資源を大切に扱う。
地域の行事に参加したりして、伝統文化を受け継ぐ、伝える。
残さず食べる。

問い「自分が住んでいるところは昔はどうだったかのか」

名前	
自分が調査する地域	上松

調査した内容、資料①:	地附山の歴史
1.観光地遺構・ロープウェー山頂駅跡・スキー場跡地：昭和36年雲上殿東側から地附山山頂までロープウェーが架設され、山頂一帯には動物園、スキー場、釣り堀、観光リフト、遊園地等ができ、賑わっていた。しかし、昭和39年「戸隠パードライン」の開通により、地附山一帯は通過点となり、レジャー事業は衰退した。また、昭和50年にはロープウェーも廃業に追い込まれた。これらの施設の一部は今でも見ることが出来る 2.1985年7月26日午後5時頃地すべりが発生。 地滑りにより、斜面にあった戸隠パードラインは寸断。老人ホーム「松寿荘」の一部建物が押しつぶされ、多数の死者を出した。湯谷小学校が避難場所となった。死者は26人、負傷者は14人。	
 	

調査した内容、資料②:	上松の歴史
(明治の初め)ほとんど専業農家だった上松の人々は田畑を耕して、自給自足の生活を送っていた。 飲料水を確保するのはきわめて重要なことだった。上松は扇状地の扇央に近い山里だったので地下水が得にくく、共同の井戸水を汲み上げたり、沢の水を生活用水として利用していた。度の家にも水瓶を用意し、汲んできた水を大切に利用していた。 (昭和5年頃)上松に水道が敷設され、給水が開始された。 山を所有している人が多く、ガスがないころの人々にとって日常使用する燃料として焚き物を得るための場となっていた。 (昭和15年)地附山付近はほとんど桑畑だった。その後りんご栽培に転換し、第二次世界大戦後には桑畑がほとんどなくなっていた。 (昭和30年頃)宅地化が進んでいった。 今では田畑はほとんどない。	

まとめ

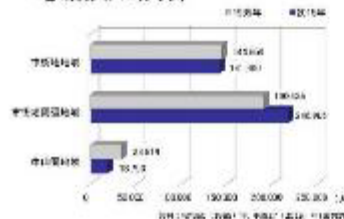
上松では、ロープウェイ等観光のための開発や自然災害等、様々な歴史があり、今もその影響が残っているところや私たちの生活に役立っているものやなくなってしまったものがあった。

感想

上松が意外と歴史深くとても驚きました。
自分の住んでいるところの昔の様子や出来事が知れて良かった。

長野市の人口②

地域別人口（グラフ）



地区別人口（32地区）①

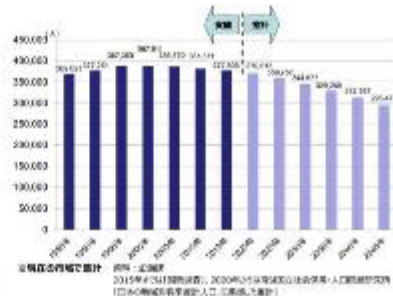
地区名	人口
1985年10月1日	2015年10月1日
長野市街地	455,000
第1地区	5,363
第2地区	13,926
第3地区	9,143
第4地区	4,055
第5地区	8,094
菅田	27,152
古賀	20,143
三輪	16,447
南田	15,001
古里	12,356
合計	6,672

地区別人口（32地区）②

地区名	人口
1985年10月1日	2015年10月1日
池田	8,363
大宮	8,105
新井	12,724
新井	15,789
新井	2,983
新井	21,628
小田	1,835
宇田	2,829
新井	37,516
新井	21,224
新井	12,934
新井	12,934

地区別人口（32地区）③

地区名	人口
1985年10月1日	2015年10月1日
川中島	18,473
黒川	23,609
七会	3,053
新井	3,040
新井	9,751
新井	5,856
新井	2,864
大田	2,103
新井	7,051
新井	3,615
新井	10



長野市地区別人口情報



長野市伝統芸能（地区ごと）



②年齢3区分別人口割合



市内では大規模の郊外移住などが相次ぎ、市街地中心では人口が減少をみられている。高齢化が進むにつれて、医療や介護などの需要が増えるなど、変容している市街地の活用が課題となっている。



長野市長 高橋 隆幸

長野市道路状況



長野市地価ランキング



長野市中心街では大規模のイート・シャッフルが相次ぎました。さらに、2024年度には最大の面積を持つイオンが撤退することも決まり、買い物客が長野駅前や周辺から訪れらるという新たな課題が生まれています。



長野市長 高橋 隆幸

長野市内中学校の閉校情報



少子高齢化が急速に進む中、過疎地区では生活や教育の課題等様々な面において課題が山積みとなっています。



長野市長 高橋 隆幸



全校生徒は3年生8人。半後に閉校の中学校で「最後の文化祭」思い出の日を心に刻む【長野県】

七会地区は、典型的な中山間地域で、現在の地区内人口、約1,400人、10年間で約500人減少した。少子高齢化、過疎化地域。地形は急峻な山ばかりなので、大規模な農業はできない。
【日本の原風景】2021年8月ブログより

黒川地区情報局



他の地域の取り組み【中心市街地】

※山間地は「中国・四国地方」の資料も参考

中心街でコンパクトシティを目指す富山市と大分市

富山市

1 富山市のまちづくりの基本方針 

富山市のまちづくりのキーワードは、「串と回子」。「回子」とは、人々が生活する場をいくつかの「居住推進地域」に分散し、市はそれらの地域に重点的に対策をして、効率的なまちづくりを進めた。「串」とは、その回子同士をつなぐように公共交通（LRT等）を整備することで、自動車なくても歩いて暮らせるまちを目指す。公共交通の充実と、公共交通を利用しやすい距離に人々が住むことを進めることによって、中心市街地の活性化を含む持続可能なまちを実現するという構想である。

富山市は現在、公共交通沿線の13カ所を「居住推進地域」に指定している。市の中心部に商業施設を集めるだけでなく、「居住推進地域」から徒歩圏内に公共施設や市の施設を増やしたり、公共交通機関の駅を増やすなど、利便性を高めた。また、この地域への移住を誘導するため、住宅の購入やマンション建設への補助金も出している。こうした政策の成果もあって、市の中心市街地の人口は、2008年以降は転入超過に転じるようになった。また、富山市民のうち居住推進地域に暮らす人々の数は、2005年の28%から、2019年の38.8%に上昇した。

商店街を再開発した高松市丸亀商店街

高松市



香川県高松市の中心街にある高松丸亀町商店街は周辺部の開発や郊外型ショッピングセンターができたことにより、1990年代後半から利用客が大幅に減少。空き店舗が見られるようになった。商店街が「買い物をする場」だけではなく、「様々な人が住みやすさの場」になることを目指し、商店街上部にマンションを建て、バリアフリーを進め、医療モールの設置などコンパクトなまちづくりと合わせた再開発を行った。近年居住者が増え商店街の活気が戻ってきている。

大分市



大分市は30年程前から郊外に大規模ニュータウンや大型ショッピングセンターが続き、大客を惹きつけ、駅周辺にあったデパートは相次いで閉店した。そこで、開発が進まなかった駅南側に、複合文化施設「ホルトホルト大分」(ホルや図書館、福祉施設)と、駅ビル「JRおおいたシティ」(ホテル、専門店街、映画館)が開業した。駅周辺道路には大規模な緑地を整備し、駅周りでマンション建設も進む。さらに、デパートの跡地に、商業施設「セントポルタル」が開店した。元々のデパートは8階建て・店舗面積1万2800平方メートルだったが、セントポルタルビルは、2階建て2607平方メートルと、大幅に規模を縮小した。小規模ながら地元スポンサーに加え、24時間の民間保育施設、歯科医院、学習塾などがあり、相乗効果で集客している。生活に必要な施設が近距離に充実することで、住民の利便性が高まり、駅周辺人口の増加も起きた。

外国人との共生を試みる安芸高田市

安芸高田市



外国人が好きとか嫌いとかの問題じゃない。必須の形だと考えている。これを怠ったら町がつぶれてしまう

市の深刻な少子高齢化と働き手不足から、「安芸高田市多文化共生推進プラン」を掲げて積極的に外国人の移住を呼びかけている。多文化共生推進員や通訳を自治体で雇用し、英語・ポルトガル語・中国語の翻訳体制を整えるとともに、交流会を企画したり、３言語による生活ガイドブックを作成し配布したりしている。外国人移住者に対して永住と短期移住の２つの体制を整え、外国人移住者向けの雇用研修や日本語教室の事業をつくった。現在 600 人以上の外国人が暮らす。

課題、その原因

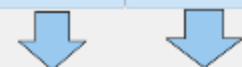
自分の考え・取り組み
は誰の意見・意見を参考に
する。例
「〇〇市の取り組みが...」
「〇〇市の取り組みが...」
「〇〇市の取り組みが...」

学習問題

「長野市が今後も住み続けたいくなるようなまちにしていけるにはどうすれば良いのだろうか？」

山間地

課題 若い人たちが減っ ていく。 高齢者が残ってい る。	原因 お店が少なく →暮らしにくい
--	-------------------------



魅力が伝われば移 住を考えてくれる 人がいるかも！ 「暮らし、住んで見る」	コンドミニアムや 池にあるお店とか を空き家を改装し て店を開く。
--	--

山間地にある空き 家を人が住めるよ うにする。	住みたいと思う人 に相談して仲間で 暮らす。
-------------------------------	------------------------------

わざわざ中心部
に行かなくても生活
できるようになら
ば暮れたいと思
う。

住み続けたいと思
ってもらえるとお
もう。

課題 人口減少 少子高齢化 原因 若年層の減少	とにかく暮らしに くい。
-------------------------------------	-----------------

戸籍や光熱費など の周りではスーパ ーやコンビニがあ ったりなかったり の状況	若い人たちが住 みたいと思える街に はならない
---	-------------------------------

長野県内では およそ30分かかる 他の地域への移動 手段が単独しかない	若い人への支援 ・雇用の補助 ・交通費の補助
--	------------------------------

中心部へ 交通を結ぶ 専用バス	住みやすさが大事
-----------------------	----------

中心部

課題：少子高齢化 子どもの楽しめる 場所が少ない。	原因： 遊ぶところない。 学校遠い。
---------------------------------	--------------------------

子どもが遊べる空 間をつくる。	「シリウス」 オープン5ヶ月で 100万人達成。
--------------------	--------------------------------

「シリウス」 オープン5ヶ月で 100万人達成。	生涯学習センター 子どもから高齢者 まで幅広い世代 に利用されている
--------------------------------	---

お店だけでなく、 子どもが楽しめる 施設をつくれば住 みたいと思う人も いるかも。	生涯学習センター 子どもから高齢者 まで幅広い世代 に利用されている
---	---

活気ある 住みたいと思う	
-----------------	--

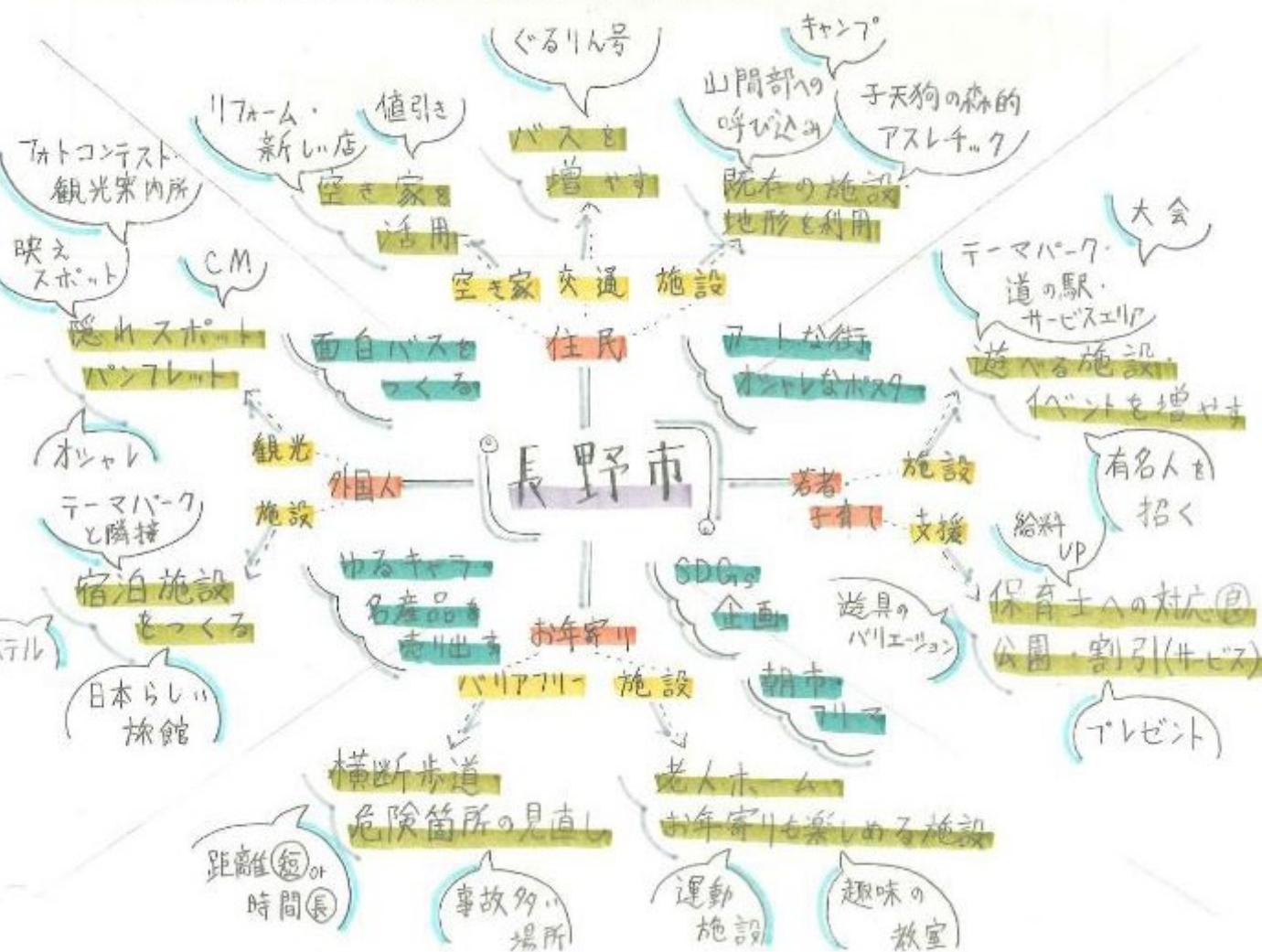
課題：人口減少、
少子高齢化

原因：空き家ある

山間地は住みたい
と思ってもらう。

中心部は不便なく
暮らせるようにす
る

①長野市の地域的特色や課題を自分なりにまとめてみよう



③学習問題「長野市が今後も住み続けたいとまちにしていけるにはどうすればよいのだろうか？」に対する、自分の結論（最終的な考え）を書こう。

・一番大切なと感じたことは、若者やお年寄り、長野市に住む全ての人が、思ったことを発信できる機会を増やすことだと思ふ。自分達もこのような授業がないと考えたり発信することはなかったから、投書をもっとオススメしたり、長野市民(県民)限定アプリを開発したりしたら良いと思った。

・自然だけじゃない、長野市の魅力をたくさんアピールして、子どもからお年寄りまで誰もが過ごしやすい市にしていきたい。もっとネットやSNSを利用して、長野の隠れた魅力を発信できたら良い。

④学習を終えての感想、自分の学びの道筋を振り返って、今後さらに追究したいこと

- ・長野市についてこんなに深く考えるのは初めてだった。知っているようで知らない長野の魅力を再確認したいと思う。長野のるるぶやパンフレットを見てみたいと思った。今でも新しいカフェや店が増えているから、それらも発信できると、進化につながるのであると思う。
- ・学年で考えることによって、自分では思いつかないようなアイデアをたくさん聞くことができた。家族にインタビューをして様々な目線からの長野市が浮かび上がってきたと思う。市外や県外、外国人の方にも長野市の印象を聞いてみたい。イベントがあるなら友達を誘って行ってみたい。